



早稲田大学総長 殿

2008年10月1日

所 属 スポーツ科学学術院
資 格 准教授
氏 名 間野 義之

特 別 研 究 期 間 研 究 成 果 報 告 書

1. 研究課題：公共スポーツ施設のベンチマーキングに関する研究
2. 研究期間： 2007年8月7日 ～ 2008年8月6日
3. 研究場所(国/都市・機関名)： イギリス/シェフィールド
Sheffield Hallam University, Sport Industry Research Centre
4. 研究成果概要(2,000字以内)：

イギリス国内で唯一のスポーツビジネスの研究所である Sheffield Hallam University, Sport Industry Research Centre (以下、SIRC) において、Simon Shibli 教授のもとで、SIRC が実施している National Benchmarking の実際について学んだ。

9月には Shibli 教授ならびに研究員たちと欧州諸国のスポーツ施設評価研究の最先端を知るために、トリノで実施されたヨーロッパスポーツマネジメント学会に参加した。

SIRCはSport Englandとの委託契約によってイギリス国内の各種スポーツ施設の評価を実施しているが、その評価結果ならびにそれを受けた改善方策の検討のための全国セミナー(ロンドン、12月)にも参加することができた。

イギリスではスポーツ施設のマネジメント人材の養成が充実しており、その仕組みとマネジャー組織を研究した結果、1月に次の論文を投稿し、3月に掲載された。

「間野義之：2008, スポーツファシリティマネジャーの役割と育成, 日本体育・スポーツ経営学研究, pp. 25-33. (査読あり)」

また、イギリスで発達するスポーツクラブに参与観察するなかで、以下の章を2月に分担執筆した。
「間野義之：2008, 第4章 施設マネジメントと総合型地域スポーツクラブ, 「総合型地域スポーツクラブの時代2, 行政とクラブとの協同」, 黒須充編著, 創文企画, pp51-62.」

さらに、9月に参加した上記学会において、ハイデルベルグ自由大学の Trosien 教授の知遇を得て、以下の章を分担執筆した。

“Yoshiyuki Mano : 2008, Sport in the Greater Tokyo Area, Sport im Wettbewerb der Metropolregionen, Trosien, G., (Hrsg), epubli GmbH, pp276-291.”

1年間を通して公共スポーツ施設の評価方法をじっくりと学ぶことができ、その結果、帰国後2009年9月に開催されたヨーロッパスポーツマネジメント学会において、以下の研究発表を行った。

“Yoshiyuki Mano, Hiroto Shoji, Simon Shibli, Peter Taylor : 2008, Changing management performance before and after the introduction of CCT(Compulsory Competitive Tendering) to a Sports Center in Japan, Book of Abstracts 16th European Association for Sport Management Conference, pp. 42-44. ”

.....
以上

